

HIO YOG

教区新報

浄土真宗本願寺派 兵庫教区教務所
〒650 神戸市中央区下山手通8丁目1番1号
(本願寺神戸別院内)
電話 神戸(078) 341-5949(代)
〔編集〕教区基推委広報部

1997. 4. 112号



仏婦総連盟堤会長あいさつ

復興支援に法話会

淡路・萬行寺笑顔満堂に

三月十七日、私たち兵庫教区仏教婦人会連盟は、仏婦総連盟(堤昭子会長)の協力を得て、阪神・淡路大震災で被災された人々の心の復興を願いながら、淡路の地は震災の震源地であったため、被災は大き

く、二年余過ぎた今も尚、多くの方々がまだ不自由な生活を余儀なくされておられます。震災後すぐに、私たち仏婦にできることをと、全国の仏婦の皆さまから送られてきたお心のこもった品々を被災された方々へお届けし続けました。頂いた礼状は数知れず、心と心のつながりを感じずにはおられません。

四月一日付人事で、兵庫教区教務所幹事・本願寺神戸別院参勤の赤松法雄さんが、本願寺山科別院副輪番に就任されました。同師は、教務所・別院に二十四年四ヶ月の永年にならって勤務されました。

せんでした。今回は、私たちにできる「ナ活動」として、法話会が開催されましたことお喜びです。萬行寺さまの広い本堂が満堂になり、お参りくださった方々の微笑むお顔をしながら、どうぞ頑張ってくださいと語りかけずにはおられない気持ちでした。開会式は、高橋教務所長

さま、堤会長さま、山本淡路組長さまのご挨拶と励ましの言葉を頂戴しました。引き続き、ご法話で、仏婦総連盟講師の波北先生は、阿弥陀さまのお慈悲をお説きくださり「人生のほほえみ」のテーマのごとく聞法する私たちの人生に笑顔と共に力強く生き抜く力を与えてくださいました。休憩の時間に、被災された皆さまへと送っていた「きなたモチ」も参拝者に喜んでもらえました。

「やっと主人が退院しました。お寺は私の心のよりどころです。」と以前仮設にお見舞いに伺った方の言葉が嬉しかったです。

十八日は、一行で宣勝寺(田近早弓住職)さまへお見舞いに伺い、その後の様子をお聞きしました。被災を受けた方々には淡路組だけにかぎらず、まだまだ困難な途上です。この度のご縁を喜ばせていただきながら、私たち仏婦として、他の教化団体の皆さまと提携しながら支援活動はまだまだこれからも続けていくことが大切だと痛感いたしました。

(仏婦総連盟委員長 木村久子)

ある宗門校の卒業式に出席をさせて頂いた。二十数年ぶりの事で、何人かの来賓の方々が祝辞をされた。その内容は高齢化社会・地域環境の破壊等々。「君達の生きていく時代は、決して楽ではない多難な時代だ」ということである。◆私の想像していた話と違うなと感じながらどこかで聞いた法話を思い出していた。「不退転の構えで生きる。不退転の構えで生きる」ということは最悪のことを想定して生きる「とだ」という内容であった。そして自分自身成程と頷いていた。◆少女が答辞を読んだ。「他の学校では学べなかったこと、それは、手を合わせる事とお念仏を申すこと。入学したばかりの時は戸惑っていたけれども、いつしか身につきました。◆「これだけで宗門校の存在価値は十分であろう。若者達よ、念仏と共に狭くなった地球を多難な時代を飛び回って生き抜いてくれ。いのちが暖められる世界を築いてくれと願わずにはいらなかつた。」(寶池龍祥)

教区たより

日	内容	時間	場所
24日(木)~26日(土)	教区相談員研修会		西山別院
25日(金)	仏婦平和の日の集い		本山
26日(土)~27日(日)	近畿ブロック保育新任研修会・補任式・大学講座		間法会館
28日(月)	ビハーラ兵庫役員会	2時	
30日(水)~5月2日(金)	推進専従員研修会		西山別院
5月3日(土)	第一土曜仏教講座	1時半	高橋 廣爾 師
7日(水)~8日(木)	連研代表者会議		本山
8日(木)~9日(金)	住職総参拝研修のための事前協議会		本山
9日(金)	保育総会	3時	
11日(日)	門推総会・研修会	10時半	
13日(火)	教区基幹運動推進委員会総会・研修会	10時半	
15日(木)	降誕会園児のつどい		本山
15日(木)~16日(金)	別院常例法座	1時半	太田 唯念 師
15日(火)~16日(水)	別院常例法座	1時半	窪田 正憲 師
17日(木)	組長ブロック長会議	2時	
17日(木)~18日(金)	仏婦総連盟総会		本山
18日(金)	蓮如上人500回遺忌法要団参事務担当者会議		本山
19日(土)~20日(日)	近畿ブロック仏青連絡協議会		別院
20日(日)	スカウトクラブ総会・土の会	7時	
21日(月)	仏婦委員総会	10時半	
22日(火)	門推結成十周年記念行事実行委員会	1時半	
22日(火)	同兵庫連総会	キリストクリスチャンセンター	
23日(水)	少年総会	1時	
23日(水)	総代役員会	2時	
24日(木)	組長会	10時半	
	蓮如上人500回遺忌法要委員会	1時	

赤松賛事が山科別院副輪番に

四月一日付人事で、兵庫教区教務所幹事・本願寺神戸別院参勤の赤松法雄さんが、本願寺山科別院副輪番に就任されました。同師は、教務所・別院に二十四年四ヶ月の永年にならって勤務されました。

ごろうさままでした。所属寺は、兵庫教区揖龍西組光遍寺。



「生かされて」 「本願寺音頭」 発売

歌手で舞踊家の千扇さんで親しまれている、杉本正義師(神戸東組照善寺住職)が、ビクターから「生かされて」と「本願寺音頭」の二曲を発表された。特に「本願寺音頭」は、来年に迫った蓮如上人五百人遺忌法要を前に文筆で踊ってほしいとの願いで振り付けがついている。また、詞もお念仏のころがこもり味わい深い。

この二曲の発表は、四月十八日、京都市内の都ホテルで披露される。同師は、昭和五十四年に「女流れ唄」で歌手デビューし、以後五枚のシングル作品をビクターからリリースし、数多くのテレビ番組や舞台上に活躍されている。日本舞踊「千扇流」創流。カセットテープは、一本千円で、二曲とも唄入りとカラオケが入っている。

唄 千扇(ちせん)
作詞 杉本正義
作曲 千葉毅

夕暮れコンサート

in モダン寺
5月18日

阪神・淡路大震災復興支援の会(前川文代表)では五月十八日(日)午後五時三十分から、「KOBÉ・夕暮れコンサート in モダン寺」を神戸別院本堂で開催します。震災で傷ついた心をクラシック音楽で癒してもらいたいと、僧侶でありチェリストの秋津智承さん(安芸教区広島北組願船坊衆徒)に相談し実現した。曲目は、モーツァルトの弦楽四重奏曲第17番「狩」、チャイコフスキーの

弦楽四重奏曲第1番第2楽章「アンダンテ、カンタービレ」バッハ「ヘルベルの「カノンとジグ」等。

奏者は、第一バイオリンを稲庭達さん、第二バイオリンを尾崎平さん、ピアノを廣狩亮さん、チェロを秋津智承さんの四名。

夕暮れに耳を傾けてみてはいかがでしょう。

参加費は大人千円、小人(小学生以下)五百円。チケットの問い合わせは、教務所の副(そえ)まで。

よし揖龍西組明正寺坊守)三月二十四日、七十八才で往生。葬儀は三月二十七日明正寺で、「壽光院釋尼美誓」

建設懇志進納総額 二十二億八千二百九十二万七千六百八十八円
(97年3月28日現在)
本願寺借入金二億円の内平成八年度に一億円を返済

敬弔

岳了空師(だけりょうくう)神戸東組寶林寺住職)二月二十日、七十四才で往生。密葬を二月二十二日に済ませ、本葬は四月二十日寶林寺で行われる。「寶岳院釋了空。昭和二十二年から住職在職五十年。堀 澤さん(ほり・み



ある宗門校の卒業式に出席をさせて頂いた。二十数年ぶりの事で、何人かの来賓の方々が祝辞をされた。その内容は高齢化社会・地域環境の破壊等々。「君達の生きていく時代は、決して楽ではない多難な時代だ」ということである。◆私の想像していた話と違うなと感じながらどこかで聞いた法話を思い出していた。「不退転の構えで生きる。不退転の構えで生きる」ということは最悪のことを想定して生きる「とだ」という内容であった。そして自分自身成程と頷いていた。◆少女が答辞を読んだ。「他の学校では学べなかったこと、それは、手を合わせる事とお念仏を申すこと。入学したばかりの時は戸惑っていたけれども、いつしか身につきました。◆「これだけで宗門校の存在価値は十分であろう。若者達よ、念仏と共に狭くなった地球を多難な時代を飛び回って生き抜いてくれ。いのちが暖められる世界を築いてくれと願わずにはいらなかつた。」(寶池龍祥)

平成9年度 兵庫教区一般会計歳計予算

(単位：円)

〔歳入〕

款 項 目	平成9年度	平成8年度	対比(△減)
賦課金	47,890,000	45,350,000	2,540,000
宗派交付金	29,990,000	16,170,000	13,820,000
各種助成金	6,770,000	5,570,000	1,200,000
地方事務関係費	9,220,000	10,600,000	△1,380,000
運如上人関係費	14,000,000	0	14,000,000
願記冥入収入	4,000,000	3,000,000	1,000,000
繰越見込	10,050,000	1,750,000	8,300,000
雑借雑入	1,750,000	2,250,000	△500,000
繰越見込	2,000,000	2,500,000	△500,000
繰越見込	7,000,000	16,000,000	△9,000,000
合計	102,680,000	87,020,000	15,660,000

〔歳出〕

款 項 目	平成9年度	平成8年度	対比(△減)
教化事業費	36,340,000	24,160,000	12,180,000
基幹運動推進費	23,220,000	23,160,000	60,000
教区推進委員会費	2,900,000	2,650,000	250,000
同朋運動推進費	3,910,000	3,910,000	0
研修費	180,000	180,000	0
連続研修費	5,100,000	5,700,000	△600,000
組織教化費	2,250,000	2,150,000	100,000
布教対策費	300,000	300,000	0
文書伝材費	2,500,000	2,500,000	0
教福祉推進費	100,000	100,000	0
都市開教費	400,000	400,000	0
教区相談員事務費	1,160,000	850,000	310,000
基本計画推進費	1,300,000	1,300,000	0
運如上人関係費	3,120,000	3,120,000	0
基幹運動推進費	13,120,000	1,000,000	12,120,000
連如上人関係費	13,120,000	1,000,000	12,120,000
教化助成費	2,390,000	2,260,000	130,000
組教議選費	3,250,000	3,600,000	△350,000
宗務所費	1,200,000	50,000	1,150,000
職事務所費	58,210,000	56,150,000	2,060,000
通事務所費	51,460,000	49,400,000	2,060,000
通信印刷費	6,150,000	6,150,000	0
消耗品費	3,000,000	3,000,000	0
備品費	700,000	700,000	0
出張費	200,000	200,000	0
図書費	50,000	50,000	0
出張費	700,000	700,000	0
渉外費	400,000	400,000	0
諸費	500,000	500,000	0
維持管理費	600,000	600,000	0
対策費	100,000	100,000	0
災害対策費	230,000	200,000	30,000
属寺関係費	960,000	500,000	460,000
出合	102,680,000	87,020,000	15,660,000

区予算は1億268万円

18%増 500回忌助成金見込む

平成八年度定期教区会が三月二十八日、別院にて開催され、平成九年度兵庫教区一般会計歳計予算案を含む十一議案が慎重審議されたが、午後三時の段階で議決を求める時点で、都合で退出された議員もあり、出席議員数が議員数の半数を割ったために休会措置をと

り、あらためて三月三十一日、午後一時三十分にも再開となった。開会後、採決に入り、上程議案はすべて原案通り可決承認された。教区会が、教区の立法機関としての機能をより充実するために、真摯に議員自らの義務と責任を果たそうと、変革をめざす始動が感

じられる教区会となった。議案上程に先立ち、高橋教務所長から所信表明があり、まず十一月八日発布された組長等の任期延長に関する特別宗則により平成十一年三月三十一日まで任期が一年延長されることによる依頼をし、阪神・淡路大震災被災寺院に対して教区

勤式作法を研究会で

H O 日誌

◆3月1日 第一土曜仏教講座を別院で。講師は藤原真哲師(兵庫女子短期大学教授) テーマは「生と死の教育」 ◆1日～2日 仏教大谷本廟一泊研修会を京都大谷本廟で。二日目は近江の蓮如上人御旧跡参拝として、金ヶ森道場と錦織寺を参拝 ◆2日 安芸教区佐伯東組正覚寺仏堂より別院に団体参拝 ◆3日 第二回門推結成十周年記念行事実行委員会を別院で ◆復興支援の会を別院で ◆4日 研修指導部会を別院で ◆6日 社会教化推進委員会を別院で ◆広報部会を別院で。教区新報の発行内容について協議。廣岡行信部会長(神戸中組徳照寺) 部会長は菅義仙(阪神西組乗誓寺) 和仁孝章(神戸中組教秀寺) 山西昭義(神戸湊組光明寺) 鷺尾衛鳳(神戸西組寶珠寺) 山本龍雄(淡路組萬行寺) 和田智淨(揖龍東組源徳寺) 増井淨見(赤穂北組浄蓮寺) 西池哲俊(出石組勝林寺) の計九名で教区新報の発行

に携わっています ◆第七回青年教化指導員会議が本山で。長尾担当者が出席 ◆7日 別院仏壇定例法座を別院で。講師は宮里哲秀師(神明組真宗寺) ◆別院仏壇役員会を別院で ◆同岡宗連総会が岡山市内のグリーンホテル岡山で ◆7日～8日 豊岡教堂永代経法要。講師は境山正仁師(奈良教区高市組福栄寺) ◆10日 基推委企画常任委員会を別院で ◆震災災害対策委員会を別院で ◆復興支援の会を別院で ◆11日 第二回連研のための研究会を別院で。講師は光森龍樹師(教区勤式指導員・神明組安養寺) でテーマは「勤式作法―正信偈の唱法と作法編の進め方―」。また法座の実際に



仏青SKIツアー参加者

の父、晃道師が去る三月一日に逝去され、故人が永年わたって力を注がれていた青少年教化にの遺志により教区少年連盟へ金三十三万円が寄贈された ◆16日 仏壇常任理事会・理事会を別院で ◆行願寺住職在職五十年・法嗣得度記念法要が行願寺(久堀弘義住職)本堂で勤修され、高橋教務所長が、表彰状を伝達し祝辞を述べる。門徒一同から記念に金襴五条袈裟が住職と法嗣の弘道さんに贈られた ◆17日 仏壇震災復興支援法話会が淡路組萬行寺(山本宣昭住職)で開催。講師は仏壇連盟講師の波北彰真師(山陰教区温泉津組光善寺)。テーマは「人生のほほえみ」。仏壇連盟から堤昭子会長、本庄圭子副会長、評議員が、教区仏壇連盟から木村久子委員長(神明組善福寺) 三宅美智子(揖龍西組源徳寺)・柴田克子(高砂組正覚寺) 両副委員長が出席。参拝者は百名を越えた ◆復興支援の会を別院で ◆19日～21日 別院春季彼岸会。講師は野村康治師(大阪教区中島東